

学校教育目標

保護者会資料

令和5年4月
調布市立八雲台小学校
校長 上田 義孝

よく考える子ども ◎思いやりのある子ども 健康な子ども

目指す学校像：一人一人の児童が安心して通うことができる学校

目指す児童像：問題を発見し、教科等横断的な視点で、解決に向かうことのできる子ども
命の大切さを自覚し、互いのよさや違いを認め合うことのできる力を身に付けた子ども
自分から心や体を鍛え、進んで運動に取り組む子ども

取組の重点

「確かな学力」の定着を図る授業の充実

- ① 国語科を中心とした指導の工夫
 - ・国語科を校内で研究発表し授業改善を図る
- ② 誰もが分かる授業の工夫
 - ・UD化を取り入れた授業、学び合いの授業、個に応じた指導、振り返りの時間の確保、交換授業
- ③ 読書活動の推進
 - ・朝読書、調べ学習での本の活用
- ④ モバイル端末を活用した授業
 - ・効果的にタブレットを活用する授業の工夫
- ⑤ 外部人材を活用した授業
 - ・地域の人材資源の有効的な活用
- ⑥ 家庭学習の充実
 - ・学年で共通した取組、自主学習の定着
- ⑦ 体験的な活動を積極的に取り入れた授業実践

心の教育の充実

- ① 特別の教科 道徳の指導法の工夫
 - ・「人とのかかわり」「生命尊重」に重点を置いて指導
- ② いじめを許さない指導の徹底
 - ・組織的にいじめの未然防止に努める（いじめ対策委員会）
- ③ 特別支援教育の充実
 - ・交流、共同学習の推進、関連機関（かにやま、すこやか、相談所）との連携、個別指導計画の活用、校内委員会による情報共有、支援体制の整備（不登校傾向、特別な支援）
- ④ スクールカウンセラー等の専門性が高い人材を活用する
- ⑤ 『八雲台小スタンダード』を基に、基本的な生活習慣の定着、規範意識を高めるとともに学年集会を通して学年としての心の成長を図る
- ⑥ 認め合う心の醸成
 - ・自分のよさ、他との違いを自覚させる（自己肯定感、自己有用感）
- ⑦ 居場所を明確化
 - ・家庭、学校での居場所・所属感を明確にもたせる

体力・健康指導の充実

- ① 体力向上に向けた体育科授業の改善
 - ・運動能力テストの結果を踏まえた全校的な取組
 - ・運動量を確保し運動を楽しむ授業改善
 - ・学校 2020 レガシー構築を目指す
- ② 運動の日常化
 - ・全校的な外遊びの推進
 - ・学級遊びの時間の確保
- ③ 「いのちの教育」活動の充実
 - ・いのちの教育月間を通し、健康増進への意識を高めるとともに「SOSの出し方」教育を適宜行う
 - ・食育の推進（世界の料理・郷土料理）と安全な給食
- ④ 環境問題に関心をもたせる
 - ・環境問題の学習から健康への意識を高める

目指す学校の基盤づくり

保護者・地域との連携

- PTAとの連携
- 地域組織（地区協・健全・開放）との連携
- 保・幼・小・中との連携（柏野小・七中）
- 情報発信（HP・学校、学年、学級・保健便り等）
- 学校を開く（学校公開・評議員会・評価委員会）
- 地域学校協働本部の充実

安心・安全な学校

- いじめを許さない学校
（学校いじめ防止対策基本方針）
- 不審者を入れない学校
- 自分の命を自分で守る子どもの育成（防災教育）
- 地域で子どもを守る体制づくり
- 個人情報管理の徹底

美しい環境の学校

- 言語環境
- 校内環境
- 緑の多い学校
- 教材の整備、活用
- 校舎、校庭等の適切な修繕・整備
- 掲示板活用による温かい雰囲気づくり